

動物と昆虫の観察・調査

国立花山青少年自然の家

1 活動の概要及びねらい

花山のフィールドに生息する動物や昆虫を観察、スケッチし、特徴的な動物・昆虫を調査し、発表しあうことにより、自然を大切にする心情を育てます。

2 時期・時間・活動場所

4月～11月・2～3時間・自然の家周辺

3 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
コース地図、ルーペ、補虫網、図鑑等	軍手、筆記用具、観察用紙等

4 実施例

- ① つどいの広場で、コース・時間・観察テーマについて事前説明します。
- ② 服装(長袖、長ズボン、帽子、軍手)、準備物を確認します。
- ③ フィールド内の動物・昆虫を観察します。採取の場合は、最小限にとどめましょう。

<昆虫調査法>

任意採集法：トラップ以外のあらゆる方法で昆虫を採集する方法

○見つけどり法

(葉上や花上に静止している昆虫等を採集する方法)

○スウィーピング法

(草むらを補虫網ですくい昆虫等を採集する方法)

○ビーティング法

(木の枝、草、花等の下にネットを差し出し、それらを叩いて昆虫を落下させ、落ちてきた昆虫等を採集する方法)

トラップによる採集法：トラップを仕掛けて採集する方法

○ベイトトラップ法

(主に、地上徘徊性の昆虫類をコップに中に入れたベイト(餌)によっておびき寄せ、コップの中に落ちた昆虫を採集する方法)

○ライトトラップ法

(昆虫には光に集まる性質「正の走性」があるので、この性質を利用し、蛍光灯や紫外線灯をスクリーンに反射させ、集まってくる昆虫を補虫網等で採集する方法)

※ 採集したサンプルは適正な方法で処理してください。

- ・三角紙、毒瓶に入れます。
- ・調査期間が2日以上にわたる場合は、カビの繁殖を防ぐため、サンプルを風通しのよい日陰で乾燥させます。

- ・サンプルが死んでいるかどうかを確認します。

④ 採集した結果をグループ内で発表し、ふりかえりを行ってください。

5 留意点

- ・ 採集する昆虫を決め、ポイントを絞って採集してください。
(時間帯、場所、個体数)
- ・ 葉、花、樹木を傷つけないでください。
- ・ ゴミは、必ず持ち帰ってください。植物を採ったり木を折ったりしないでください。
- ・ 自然界の動物や昆虫等を必要以上に驚かささないでください。
- ・ うるし、スズメバチ、マムシ等には注意してください。

【参考資料】

「花山の花暦と昆虫類等」を参考に、観察・調査・採集することが効果的ですが、天候等により若干観察・採集時期が異なるので、参考資料として活用してください。

<しゃくなげ15-1「花山自然体験プロジェクト調査研究報告書」>参照。